

第11章 社会参加・地域との関わりの状況

1. 地域の活動

(1) 参加状況

全ての項目で、「参加していない」が過半数となっている。一方で、参加している割合では、一般高齢者、要支援認定者・事業対象者ともに「趣味」が最も高く、一般高齢者で 29.7%、要支援認定者・事業対象者で 23.8%の参加がみられる。

(2) 参加の意向

「ぜひ参加したい」「参加してもよい」「すでに参加している」を「参加意向あり」とすると、一般高齢者では 58.1%、要支援者・事業対象者は 51.9%が「参加意向あり」となった。

このうち、「ぜひ参加したい」は一般高齢者で 5.4%、要支援認定者・事業対象者で 9.1%と低い割合にとどまっているほか、「参加したくない」がそれぞれ 35.0%、35.5%と一定程度みられる。

これらのことから、積極的な参加意向は高くないものの、参加してもよいと考える層が一定程度確認できた。

(3) 隣近所や地域で高齢者を支えることについて

隣近所や地域で高齢者を支えることの必要性についてみると、要支援認定者・事業対象者で 72.6%、要介護認定者で 68.0%、一般若年者で 66.2%が「必要である」と回答しており、いずれの調査区分においても高い割合となっている。

一方で、「必要ない」とする回答はいずれの調査区分においても低く、地域で支え合うことの重要性が広く認識されている状況がみられる。